

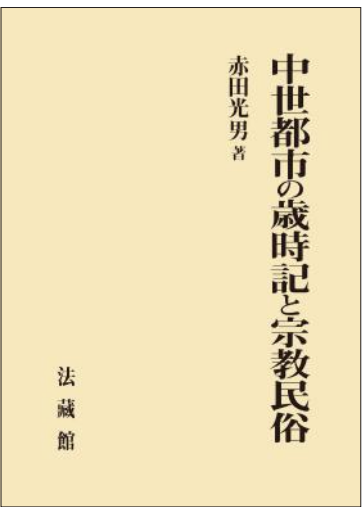
中世都市の歳時記と宗教民俗

あかた みつお

赤田光男著

▼A5判・上製函入・698頁・本体10,000円＋税

2020年12月刊行



十五、六世紀頃の南都と京都における歳時と宗教民俗を、当時の日記類から考察し、近現代の民俗との共通点・類似点を解明した大著。

【目次】

序章

〔奈良編〕

- 第一章 南都の正月行事
- 第二章 南都の春の歳時記
- 第三章 南都の三月節供および矢田地蔵開帳と法華経信仰
- 第四章 中世後期奈良の花見歳時記
- 第五章 奈良の八重桜考
- 第六章 南都の仏生会と夏中含利講および五月節供
- 第七章 南都の夏越祓いと七月節供
- 第八章 南都の盆と地藏盆の行事
- 第九章 南都の八朔と秋彼岸会
- 第十章 南都の仲秋の歳時記
- 第十一章 南都の晩秋から初冬の歳時記
- 第十二章 南都の冬の歳時記
- 第十三章 中世後期大和における芸能の展開
- 第十四章 神樹と植栽

〔京都編〕

- 第一章 『満濟准后日記』にみる春の歳時記
- 第二章 京都の花見歳時記
- 第三章 京都の夏から秋の歳時記
- 第四章 京都の冬の歳時記
- 第五章 山遊びと庭造りおよび蹴鞠の展開

結 章

初出一覧
あとがき
索引

◆著者略歴

一九四三年、福岡県に生まれる。一九六七年、同志社大学文学部卒業。一九七三年、同志社大学大学院文学研究科文化史学専攻博士課程単位修了退学。現在、帝塚山大学名誉教授。博士(文学)。日本民俗学・民俗宗教専攻。主な著書に、『祭儀習俗の研究』(弘文堂、一九八〇)、『祖霊信仰と他界観』(人文書院、一九八六)、『家の伝承と先祖観』(人文書院、一九八八)、『日本村落信仰論』(雄山閣出版、一九九五)、『ウサギの日本文化史』(世界思想社、一九九七)、『精霊信仰と儀礼の民俗研究』(アミミズムの宗教社会) (帝塚山大学出版会、二〇〇七)、『中世大和の仏教民俗信仰』(帝塚山大学出版会、二〇一四)、『日本民俗学』(弘文堂、共著、一九八四)、『祖霊信仰』(民衆宗教史叢書26) (雄山閣出版、編著、一九九二)、『講座日本の民俗学』(全12巻) (雄山閣出版、共編著、一九九七〜二〇〇四) など多数。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
法藏館 本体10,000円＋税 赤田光男著 中世都市の歳時記と宗教民俗 ISBN: 978-4-8318-6297-6 C3039	
住所	お名前
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

民俗・文化史